

平成 28 年度教員免許更新講習実践報告
—専門科目バレーボール—

The teacher's license update lecture practice report in 2016
—The special subject volleyball—

佐藤 亮輔 杉山 仁志 飯田 周平*
Ryosuke Sato Hitoshi Sugiyama Shuhei Iida

*国土舘大学

Abstract

A teacher's license update system was introduced from 2009 April 1st by the formation of the revision teacher's license law in June, 2007.

There was request from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Saitama Prefecture school board, too, in the science and it implemented a teacher's license update lecture with seventh time in this year.

In the this report, it implements a questionnaire survey for the volleyball which was implemented as the special subject from the inside at the update lecture which was set about this year (2016) science.

It had a purpose of getting a necessary data from the result in the future of implementing a lecture when. In the future, it thinks that the things such as "making an attendance object clear" become necessary with the step of whether or not "to examine contents" or the participant recruitment.

キーワード：教員免許、更新講習、バレーボール

Key words : Teacher's license, update lecture, volleyball

I はじめに

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制度が導入された。

教員免許更新講習は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

基本的な制度設計は、終了確認期限前の 2 年間に大学などが開設する 30 時間の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して終了確認を受けることが必要となる。

更新講習の受講対象者は、現職教員・教員採用内定者・臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者・過去に教員として勤務した経験のある者などである。

更新講習を開設できるのは、大学・指定教員養成

機関・都道府県教育委員会などであり、担当することが出来る講師は、大学の教授・准教授・講師または、教育委員会の指導主事などである。

更新講習の内容は、教育の最新事項に関する事項（12 時間以上）と教科指導、生徒指導、その他の教育の充実に関する事項（18 時間以上）であり、受講者の専門や課題意識に応じて、開設する講習の中から選択することとなっている。¹⁾

武蔵丘短期大学（以下「本学」とする）では、文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度 7 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成 28 年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。

その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

Ⅱ 調査方法

1. 調査対象

本学で開催した教員免許更新講習の中から、専門科目として設定したバレーボールを受講した42名。

2. 調査方法

更新講習終了後、受講生にアンケート用紙を配布した。

記入にあたっては、時間制限をせずに実施した。

講習内容4時限のうち、4時限目の試験を除いた3時限分について、それぞれの時間毎に記入できるようアンケート用紙を作成した。

また、各項目に自由記述の欄を設け、受講生の自由な意見を引き出せるよう配慮した。

回答数は、受講生42名のうち42名(有効回答数100%)であった。

Ⅲ 結果

1. 受講理由

本学で教員免許更新講習を受講した理由を下記の5項目で質問した。なお、複数回答を可とした。

- ①自宅から近い
- ②受講科目に関心があった
- ③現在の教育(指導)に役立つ内容だった
- ④本学の教員と面識があった
- ⑤その他(自由記述)

結果、①14名②28名③10名④21名⑤12名であった(図1)。

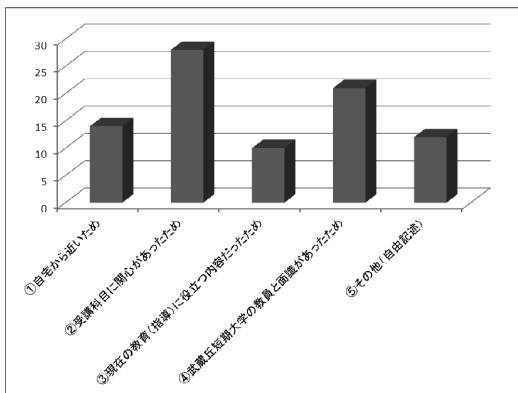


図1 受講理由

なお、⑤その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・これまで参加された先生方に勧められた。

- ・同僚の先生の紹介。
- ・評判が良い。
- ・うまいものが食べられる。であった。

2. 講習内容

講習内容をそれぞれの時限毎に下記の5項目で質問した。なお、項目選択の理由を自由記述とした。

1) 1限目(講義)

主な内容：指導者の資質及び指導方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他(自由記述)

結果、①35名②7名③0名④0名⑤0名であった(図2)。

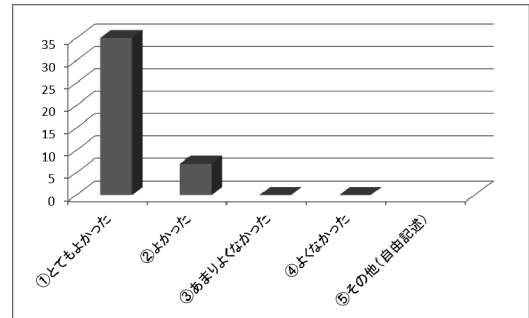


図2 講習内容(1時限講義)

①を選択した理由としては、「熱い話に共感した」が最も多く15名であった。次いで「指導について再確認できた」、「今後の活動の中で活かしたいと思った」、「話の内容が興味深かった」などであった。

②を選択した理由では、「感銘を受けた」、「今後の活動の中で活かしたいと思った」などであった。

2) 2限目(実習・実技)

主な内容：レシーブ、トス、スパイク(3段攻撃)における練習方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他(自由記述)

結果、①33名②9名③0名④0名⑤0名であった(図3)。

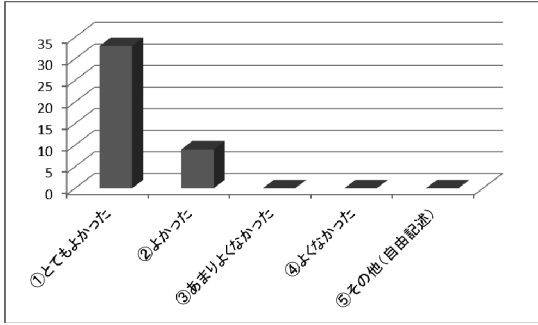


図3 講習内容(2時限実習実技)

①を選択した理由としては、「授業の参考になった、指導の再確認ができた」、「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」の2項目が最も多く14名。次いで「教え子もいて大変楽しくできた」が2名。他には「学生の人数を増やしてほしい」、「実技を多くしてほしい」、「狭いスペースでの練習法を教えてください」などであった。

②を選択した理由では、「参考になった」、「学生が実際に動きを見せてくれて一緒に楽しくできた」の2項目が最も多く3名。次いで「初心者には難しい」が2名。無回答が1名であった。

3) 3限目(講義)

主な内容：スパイクスイングにおける理論

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他(自由記述)

結果、①31名②11名③30名④40名⑤0名であった(図4)。

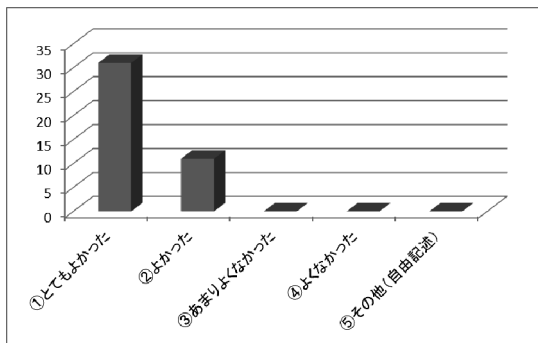


図4 講習内容(3時限講義)

①を選択した理由としては、「科学的に映像を使いわかりやすかった」が最も多く29名。次いで「ジャンプとの連動したスパイクフォームについて聞きたかった」が1名。無回答が1名であった。

②を選択した理由では、「動画と説明が良かった」が最も多く7名。次いで「専門的すぎる」が3名。「もう少し解説、説明がほしかった」が1名であった。

3. 講習内容

今回の教員免許更新講習(専門科目バレーボール)を受講して、全体的にどのような感想を持ったかを自由回答で質問した。回答の内容は以下のとおりである。

- ・人数が多くて一面しか取れないことが普通なので、本日のような4人ローテーションは場の工夫としてとても良い方法を教えていただきました。単調になりがちな基礎練習の様々な取り組みを初心者、初級、中級、上級とレベル別に紹介していただけると授業の中でバリエーションをもっていけるとと思います。実技の時間内では難しいと思うので、講義等の中で映像で見せていただけるとさらに良かったと思います。

- ・とても良かったです。初心者にも分かりやすく、講義の内容も工夫されており勉強になりました。
- ・スパイクの基本をわかりやすく解説していただけてよかった。実技に関してはもう少しやりたい気持ちがあったが、年齢には勝てなくて丁度よかった。
- ・1時間目の川合学長の講義を受けて部活動指導の観点からとても勉強になりました。私自身は、バレーボール部の顧問ではないのですが、他のスポーツのベテラン指導者から学ぶことは大変新鮮な驚きと興味深さがありました。ありがとうございました。
- ・本当は、バスケットボールを受講する予定だったので、最初は少し不安な気持ちと、あまりやったことのないバレーボールへの不安でいっぱいでした。でも、2時限目に大学生が一つ一つ丁寧に教えてくださり、少しだけ自分の思うところにレシーブが返せるようになったことでとても嬉しくなりました。たぶん初心者の生徒も同じだと思います。基本を丁寧に、体づくりも含めて指導を受ければ部活動も楽しくなるし、バレーボールは一生続けられるスポーツなので生涯スポーツとして皆が親しんでいいたら

いいと思い、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・学長先生の講演においても指導者のあり方などいろいろと考えるところがありました。情熱を持ち指導にあたることが道を開くことだと感じました。生徒と共に頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

・川合先生の情熱を素晴らしいと思いつつ、新しい指導方法を幾つか取り入れていこうと思います。ありがとうございました。バレーボールを指導している私にとっての方向性が固まりました。

・前半は長きにわたり、バレーボールに情熱を傾けた川合先生のお話を聞き、バレーボール指導をしている自分にとっての方向性というか、生徒にどういう人間になってほしいのかというイメージがより固まりました。試合に勝つこと、技術を高めること、仲間との交流、いずれも大事なものです。それすらも「ただのスポーツ」、「そんなにやっても意味がない」と家庭事情や心境の浮き沈みで斜に構えて考えてしまうことが人間誰しもあると思います。そんな心がすさむときに、本気になって一つのことを追求していった人の話や仲間からの本気の言葉が「やっぱりスポーツは楽しい」とか周囲への感謝を感じずにはいられなくなるのだらうと思いました。

・私自身バレーボールを大学まで続けてきましたが、ここ10年くらいバレーボールの顧問としてやっている中で、技術の構造や組織プレーやポジションのことなどまったくといってわかっていないことを感じていました。自分が教えてもらった記憶をたよりにやっていたので正しかったのかもわかりません。こうやって専門的知識を持って指導にあたれたら1人1人の力をもっと伸ばすことができたかも知れません。もっともっとレベルの高い楽しいバレーになったかも知れません。できれば免許更新だけでなく機会を作っていただけると嬉しいです。今回の講習を受け、もっと勉強したいという気持ちになりました。ありがとうございました。弱小チームですが、バレー好きな生徒に育てたいと思っています。

・最終日ということもあり、時間的な部分でのご配慮ありがとうございました。川合学長先生の指導者としてのお話、やはり情熱を持って取り組む事の大切さを学び取ることができました。残りの部活指導

に生かし1人でも多くインターハイに出場し、勝負できる選手作りをしていきたいと思います。実技では、学生の応援もありスムーズに行うことができました。内容的にも基本的な事を教えていただき、特にオーバーハンドパスの方法では間違った認識をしていたのがわかり助かりました。ありがとうございました。

・中学校でバレーボールを指導していて長年の我流での指導を見直すよい機会となった。正しい知識を生徒に伝えていく事の大切さを痛感した。実技もほどよい時間で50代としてちょうど良い運動量でした。

Ⅳ 考察

アンケートから、質問項目1の本学で受講した理由では、「受講科目に関心があったため」が最も多い結果であった。多くの教員が専門で行ってきた内容以外の担当となり、指導にあたっての知識、技能を高めたいと考えていることが推察される。次に多かった「本学教員と面識があったため」については、その他を選択した回答の記述において、同僚の紹介が数名あった。つまり、直接的でなくとも本学の教員が、中学・高校の教員と何らかの関わりがあることが講習先に本学を選択した要因となったことが考えられる。次の「自宅から近いため」については、中学・高校の教員が夏休み中であっても激務であり、遠方まで研修に行く時間がないため、自分の母校等より自宅に近い本学を選んだことが推察される。

質問項目2の1) 講義(1限目、指導者の資質及びその指導方法)では、「とてもよかった」が最も多く、次いで「よかった」の順であった。項目選択の理由から、講義内容が受講者にとって有益であったことが読み取れる。また、バレーボールを専門としていない指導者からも同様の意見であったことから、指導者として参考になる内容であったと思われる。

質問項目2の2) 実習実技(レシーブ、トス、スパイク(3段攻撃))では、「授業の参考になった、指導の再確認ができた」、「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」といった意見が多く、①とてもよかった②よかったのみの回答であった。これは、今回受講した先生方が普段の授業でいかに困っていた

かが伺えることができ、実習実技を取り入れたことが評価につながったと思われる。また、「学生が丁寧な対応でフォローしてくれた」ことについては、本学学生をデモンストレーターとして、受講者に目で見分けるようにしたことが評価につながったと思われる。また、「教え子もいて大変楽しくできた」など、今年度の講習では比較的参考になったと考える。しかし、「学生の人数を増やしてほしい」、「実技を多くしてほしい」、「狭いスペースでの練習法を教えてほしい」などの意見もあった。学生の人数に関しては、受講者2人に対して1人の学生がつくことは理想ではあるが、本学女子バレーボール部員数が20人に達していないので、今後は臨機応変に対応できるようにしていくことも検討課題と考える。狭いスペースでの練習法に関しては、教員免許更新講習の性格上、様々な分野（高等学校や中学校、小学校）で教員をされている方が同時に受講しているので、様々な環境（公立、私立、他の部活動との体育館使用状況等々）の違いもあると考えられる。このような意見が、同様の講習を続けていけば多くなってくることも考えられるため、今後の課題として検討していく必要性を感じた。

質問項目2の3) 講義（スパイクスイングにおける理論）では、①とてもよかった②よかったのみの意見であった。これは、専門科目としてバレーボールを設定したこともあり、専門的な指導を行う上で必要な知識として、スパイクスイングに焦点を絞って行ったことが上記の結果となったのだと考えられる。また、学生時代は専門的に研究等を行うことができるが、教員として現場の仕事に就いたことでその時間を作れない人も多いと思われる。今回の講習がきっかけとなり、その必要性を感じてもらえれば、講習を行った意義があったと考える。

質問項目3（講習全体）では、自由記述とし、多くの意見が寄せられた。受講生それぞれの視点によって言い方は違うが、大半は受講内容が良かったという内容であった。今後も大半は良かったと言ってもらえるように、本学において教員免許更新講習を実施していくにあたり、様々な意見に対処していくことも今後の検討課題である。

V まとめ

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により平成21年4月1日から教員免許更新制が導入された。

本学では文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で7回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（平成28年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

受講内容では、「とてもよかった」、「よかった」の回答が多かった。しかし、今年度の講習では一昨年度の講習に比べ、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしい」などの要望が少なかった。また、「学生の人数を増やしてほしい」や「狭いスペースでの練習法を教えてほしい」という新たな意見があった。今後、本学で教員免許更新講習を行っていくうえで、「講習内容の検討を行う」か、あるいは受講者募集の段階で「受講対象者を明確にする」といったことが必要になると考えられる。

また、「講習内容の検討」を行ううえにおいても、専門科目においては、「専門性を強調し、高度の内容を実施していく」のか、「現場の授業での初心者向けの内容を中心とする」のかを考える必要がある。その「現場の授業での初心者向けの内容」の講習を行うにしても、「中学校」が対象なのか「高等学校」が対象なのか、「男子」が対象なのか「女子」が対象なのかといったことも検討していく必要があると考えられる。

そして、本報告を含めてアンケート調査を過去6回実施しており、来年度も実施を予定し、各年度における比較・検討及び、追跡調査も必要と考える。

本報告では、以上の点を検討する必要性を示唆する資料となった。

【参考文献】

- 1) 文部科学省ホームページ：教員免許更新講習

